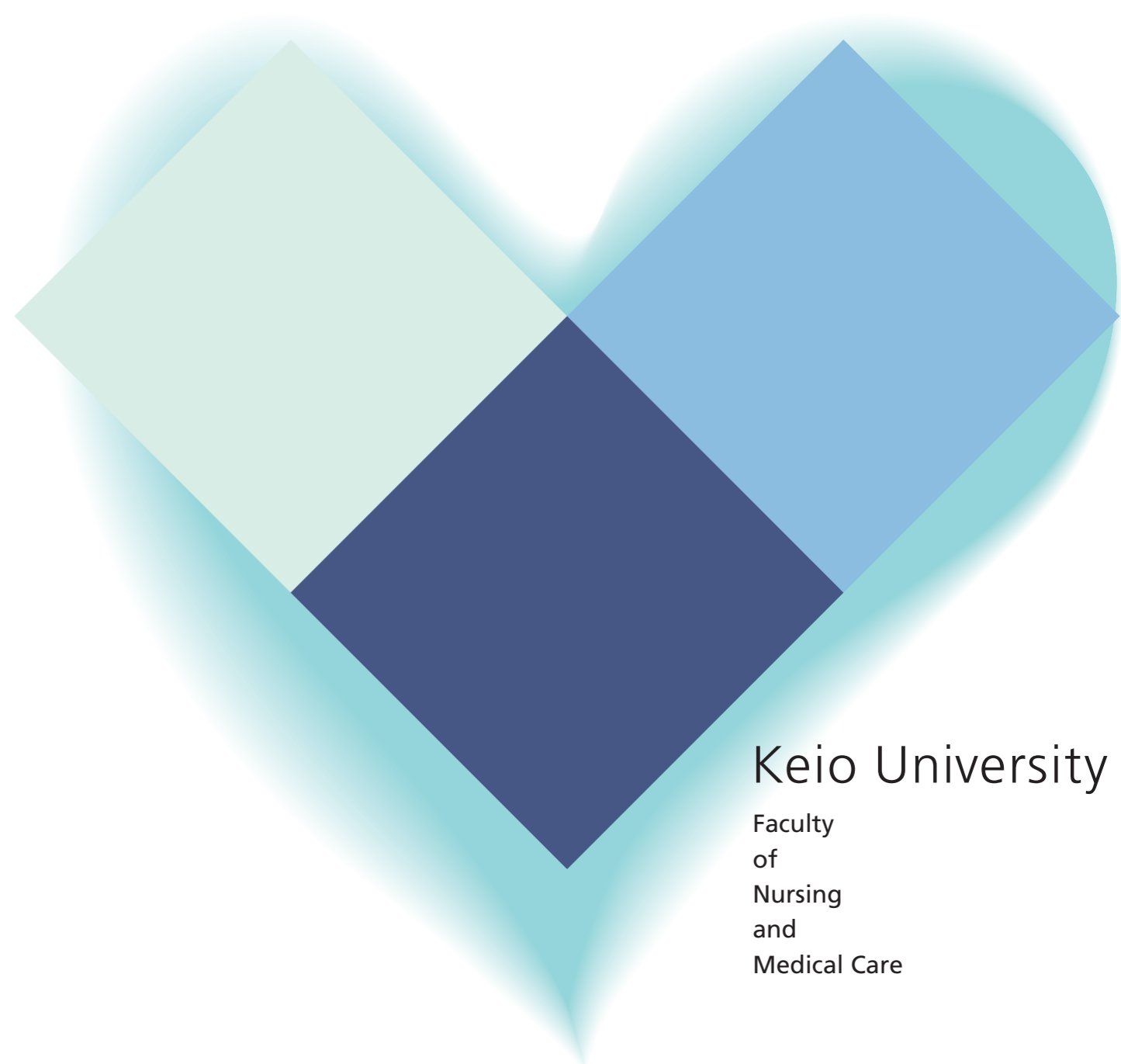


慶應義塾大学
看護医療学部

<http://www.nmc.keio.ac.jp>



Keio University
Faculty
of
Nursing
and
Medical Care



2017

看護の学びを広げ、
あなたの未来を広げる、
慶應義塾

さまざまなライフスタイルが共存する社会の中で、人々が健康に暮らすためには何が必要か、看護の立場からどのような貢献ができるか。それらを追究し、実践するためには、看護の対象である人間とその環境を理解し、看護学にとどまらず、幅広く学ぶことが重要です。慶應義塾大学看護医療学部は、総合大学として、医療系に三学部を擁する大学として、いままでの保健・医療・福祉の枠を越えて活躍できる、先導者の育成をめざしています。

学びと未来へ、
慶應義塾の
オリジナリティ

総合大学の強み

湘南藤沢キャンパス(SFC)の総合政策学部・環境情報学部の科目をはじめ、興味・関心に応じて他学部の科目を履修。大学病院のある信濃町キャンパスで臨地実習も行えます。

> p.5

三学部合同教育

医療系の医学部・看護医療学部・薬学部が合同で実施するプログラム。患者中心のグループアプローチによる医療実践に貢献することを目的に、三学部の学生が共に学びます。

> p.11

多彩な進路

病院や行政機関に就職する人。一般企業で活躍する人。起業にチャレンジする人。さらなる学びを志して進学する人。多彩な進路は、総合大学で培った能力とスピリットの表れです。

> p.14



～学部長あいさつ～

あなたの挑戦を応援しています

慶應義塾における看護教育の歴史は長く、2018年には「慶應看護100年」を迎えます。その源は、1918(大正7)年、初代医学部長である北里柴三郎博士が「医療における看護師の役割」を高く評価した卓見に基づき看護婦養成所を設置したことに始まります。その後、厚生女子学院、看護短期大学へと、福澤諭吉の建学の精神である「独立自尊」と「実学」を重んじる看護教育が連綿と継承され、2001年4月の看護医療学部の誕生につながりました。

看護医療学部は、まさに21世紀のはじまりとともに、これからの変動の大きな時代において幅広い視野を持った看護医療の先導的役割を果たす人材を育成することを目的として開設されました。そして今、これから50年、100年先を視野に入れ、健やかな社会の形成に尽力できる人材の輩出をめざしています。

わが国は、「少子高齢多死化」という類例のない社会変動を迎えています。急性期疾患に対する〈治す医療(cure)〉のみならず、慢性疾患や生活習慣病など治すことが難しい病に対し、〈暮らしや生き方を支え・促すケア(care)〉の開発が急務となっています。誰もが健やかで安全・安心を保証された未来を描けるよう、新たな英知と技術の結集・融合・創生が求められています。

看護学は実践科学としてそのあり方を探究しようとするものです。そのために、人間尊重の精神と豊かな人間性、深い知性と倫理観に基づく判断力と実践力を備えることが必要です。また、他の学問分野と相互交流して実学としての看護医療の発展に寄与できるよう、生涯にわたって研鑽を続けることも求められています。そして、変動する未来社会を見据え、起こりうる問題を予測し世界レベルでの健やかさをめざすには、グローバルな視点から変革を起こす力が必須となっています。

看護医療学部では、このような人間性と能力をもった人材を育成することをめざしています。多様な文化への造詣、人とのつながり、新たな体験やチャレンジを通して、自分を見つめ、自身の可能性を見出し、その可能性を引き出すための学びの意義を見出してください。

看護医療の学び舎は、個々人の個性を大切に、自らの関心や主体性を尊重することをめざしています。自分を大切にすることとは、他の個性を思いやり尊重することでもあります。つまり、社会の中で責任ある行動を自らとれるようになることも含まれます。また、自分とは異なる状況にある人を理解しようとし、その人の痛みや苦しみに寄り添い、支えるというケアの難しさと魅力についても見出してほしいと思います。慶應義塾においてさまざまな学問分野の学びや交流を深め、自分を豊かに磨いてください。

あなたの挑戦を応援しています。



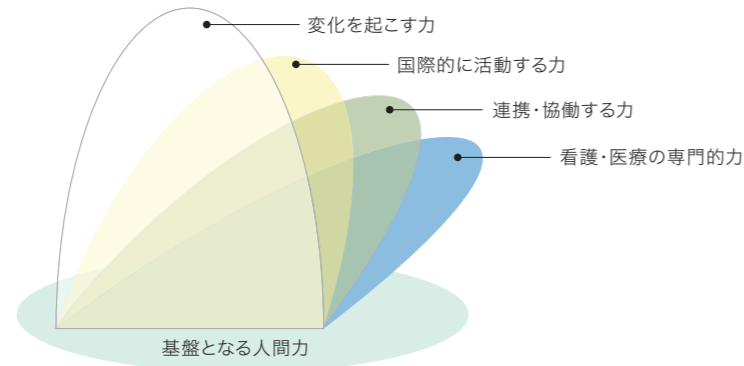
慶應義塾大学看護医療学部長

小松 浩子

これからの看護と医療を、5つの力で支えていくために

ディプロマポリシー (学位授与方針)

学則で定める卒業に必要な単位数を取得することが、学士号授与の要件となります。
現在の学則で卒業に必要な単位数は、必修科目104単位、選択科目20単位以上、合計124単位以上です。
また、卒業までに以下の5つの力を身につけていることを重視します。



〈基盤となる人間力を土台として、それぞれの能力を自由に発展させる〉

基盤となる人間力

基本倫理としての生命・人間尊重の精神とともに、人間的に調和の取れた人格を備え、社会人として成長することができる力。ならびに、幅広く社会への関心をもち、人々と出会い交流し、相互作用を起こすことができる力を身につけていること。

連携・協働する力

高度化された医療に対応する、さまざまな専門職で構成されたチームにおいて、お互いの専門性を最大限に活かしながら、より優れた実践につなげるために行動できる力を身につけていること。

変化を起こす力

看護や医療および社会で起こっている、あるいは起こる可能性がある事象への関心を深め、そこから問題を発見する批判的な力、その問題を解決し、既存の枠を革新していく力を身につけていること。

看護・医療の専門的力

これからの社会や、人々の生活を見すえ、看護の知識や技術を駆使して新しい看護活動の場を創造し、保健・医療・福祉を先導するための基礎的な力を身につけていること。

国際的に活動する力

国際的な感覚とともに、日本のポジションや役割を的確に捉えられる幅広い教養を備え、他の国々の医療専門職と協働できる、柔軟な発想や行動力を含めた基礎的な力を身につけていること。

みなさんに身につけてほしいこれら5つの力は、「人間・社会科学領域」、「健康科学領域」、「看護科学領域」、「統合領域」という4つの領域で構成されるカリキュラムを通して学ぶことになります。

カリキュラムの構成

カリキュラムは、5つの力を効果的に身につけられるように4領域・16分野で構成されています。基礎から実践力までを幅広く養います。

人間・社会科学領域

〈情報技術〉〈自然言語〉〈ヒューマンケアリング〉〈制度・社会〉の4つの分野から成り立っています。人間や社会を、広く深く理解するための科目が配置されています。

看護科学領域

〈基礎看護学〉〈母性看護学／助産学〉〈老年看護学〉〈小児看護学〉〈成人看護学〉〈精神看護学〉〈在宅看護学〉〈地域看護学〉〈グローバルヘルス〉の9つの分野から成り立っています。人間をどうとらえ、人間が生きて生活する環境や人間の健康をどうとらえ、看護そのものをどうとらえるか。さまざまな視点からアプローチできる科目が配置されています。

健康科学領域

〈健康科学・病態学〉〈先端医療〉の2つの分野から成り立っています。心身の健康と、健康が破綻した際の病態、およびその回復過程を理解するための科目が配置されています。

統合領域

〈看護・医療統合〉分野から成り立っています。「人間・社会科学領域」と「健康科学領域」における学びを基盤に、「看護科学領域」の9つの分野全体を見渡し、医療とは何か、看護とは何かを、あらためて問い直すための科目が配置されています。

4年間のカリキュラム

総合大学の利点を活かした学び

看護医療学部では、総合大学であるという利点を活かし、一人ひとりの興味・関心に応じて他学部の科目を履修することができます。特に、メインキャンパスとなる湘南藤沢キャンパス(SFC)では、総合政策学部や環境情報学部の科目を履修する学生が多く、学部の枠を越えてお互いに刺激し合いながら、視野を広げています。講義・演習科目においては、その専門性を高めるために、積極的に他学部の教員を招いています。また、慶應義塾大学病院のある信濃町キャンパスで、さまざまな病気の患者さんに対する看護や医療の臨地実習を重ねるなど、2つのキャンパスで効果的に学べる点も大きなメリットです。

実習を通し高い看護能力を習得

学生は、1年次の大学病院における見学実習を経て、2年次には学内演習で身につけた技術を応用し、大学病院や外部の高齢者施設などで実習を行います。3年次には患者さんやその家族に対する看護を学ぶため、大学病院、緩和ケア病棟・精神科病院など外部施設での実習が始まり、4年次には在宅療養中の人々に対する看護を学ぶため、訪問看護ステーションなどで実習を行います。これら多彩なフィールドでの実習を積み重ねることで、高い看護能力の習得を目指します。また、保健師選択コースでは地域の保健センターや企業の健康管理部門で、助産師選択コースでは助産院での実習も行います。

自由な発想を育てる少人数制教育

語学や情報技術科目はもちろんですが、専門科目においてもディスカッションやグループワークなどを取り入れた少人数制教育を実施しています。特に演習や実習においては1グループを7～10人程度で構成し、それぞれのグループを1名の教員が担当。この方法を採用することで、学生は主体的に授業に参加することができます。さらに、自由な発想による意見交換が活発に行われるため、さまざまなもの見方や考え方に触れ、各自が多くの学びを得て成長する場となっています。教員は、グループ全体の学習がスムーズに進むように関わりながら、学生一人ひとりに対してきめ細かな指導を行っていきます。

学年	1	2	3	4
キャンパス	湘南藤沢		信濃町	湘南藤沢 / 信濃町
カリキュラムの流れ	豊かな表現力、コミュニケーション能力と、情報探索技法を修得する。	看護学の基礎として、看護の対象である人間を理解し、看護ケアに必要な知識や技法を身につける。各実習科目を通して、人々の多様な生活や生き方、あらゆる形態の医療および保健・福祉の実際を知り、看護の果たすべき社会的役割についての関心を高める。	病気を持つ人を理解するための専門知識と、治癒・回復を支援するための援助技法を身につける。1・2年次の学習も統合して、演習(事例学習、技術演習)や臨地実習を行い看護実践に必要な基本的能力を習得する。	各自の選択したコースに基づき、より専門性を深めるための学習を行う。医療連携も考慮した、視野の広い看護職を目指す。
人間・社会科学領域	情報技術 自然言語 ヒューマンケアリング 制度・社会			
健康科学領域	健康科学・病態学			先端医療
看護科学領域	基礎看護学	母性看護学／助産学 老年看護学 小児看護学 成人看護学 在宅看護学 地域看護学	精神看護学 グローバルヘルス	基礎看護学 母性看護学／助産学 在宅看護学 地域看護学
統合領域				看護・医療統合

※ は必修科目です。この他、選択科目として看護医療学部設置科目、他学部等設置科目を履修することができます。
 ※ は保健師選択コース必修科目です。 ※ は助産師選択コース必修科目です。 (2016年4月1日現在)

進路希望に応じた保健師・助産師選択コース制

看護医療学部では、保健師・助産師の養成についてよりきめ細やかに対応できる選択コース制を導入しています。3年次秋学期に希望票を提出し、選抜の結果履修が許可されると、4年次において卒業に必要な科目と並行して各コースの必修科目を履修します。各コースに設置された科目の中には、コース外の学生が履修できるものもあります。

卒業生全員	看護師国家試験受験資格	
保健師選択コース修了者(20名予定)	看護師国家試験受験資格・保健師国家試験受験資格	
助産師選択コース修了者(最大6名、女子のみ)	看護師国家試験受験資格・助産師国家試験受験資格	※保健師選択コースと助産師選択コースを同時に選択することはできません。

設置科目一覧

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修

領域	分野	必修科目	選択科目
人間・社会科学領域 人間や社会を、広く深く理解するための科目が配置されています。	情報技術	情報とネットワーク 看護情報リテラシー	データサイエンス マルチメディア表現 保健統計学
	自然言語	英語ⅠA・ⅠB 英語ⅡA・ⅡB	看護医療の英語Ⅰ 看護医療の英語Ⅱ プロジェクト英語A・B・C・D ドイツ語ベーシック1・2 フランス語ベーシック1・2 中国語ベーシック1・2・3
	ヒューマン ケアリング	心の理解と共有	ストレスマネジメント 心理学 人間生命を考える
	制度・社会	慶應義塾入門 保健医療福祉行政と政策	社会福祉原論 ☆ 世界の医療・保健制度Ⅰ(比較制度論) 世界の医療・保健制度Ⅱ(海外研修)
健康科学領域 心身の健康と、健康が破綻した際の病態、その回復過程を理解するための科目が配置されています。	健康科学・ 病態学	人体探検 身体の構造と機能 健康論 環境論 病態学入門 急性期病態学総論 急性期病態学各論	慢性期病態学総論 慢性期病態学各論 精神病態学総論 精神病態学各論 終末期病態学 看護のための薬理学
	先端医療		看護のための生物学 看護のための栄養学 看護のための生化学・生理学
看護科学領域 人間をどうとらえ、人間が生きて生活する環境や人間の健康をどうとらえ、看護そのものをどうとらえるか。さまざまな視点からアプローチできる9つの分野の科目が配置されています。	基礎看護学	今日の看護医療 ライフステージと発達看護論 看護学原論 看護と倫理 生命倫理	生活援助技術 医療支援技術 看護基本技術 基礎看護ケア実践Ⅰ(看護活動の実際) 基礎看護ケア実践Ⅱ(生活援助)
	母性看護学/ 助産学	母性発達援助論 母性発達援助実践	性と生殖における健康と権利 ★ 助産理論 ★ 助産技術 ★
	老年看護学	老年発達援助論 老年発達援助実践	助産管理 ★ 助産実践 ★
	小児看護学	小児発達援助論 小児看護学 小児看護学	看護理論と実践 看護と哲学
	成人看護学	成人発達援助論 成人看護技術演習 急性期看護学 急性期看護学演習 急性期ケア実践	慢性期看護学 慢性期看護学演習 慢性期ケア実践 終末期看護学 終末期看護学演習 終末期ケア実践
	精神看護学	精神看護学 精神看護学演習	精神ケア実践
	在宅看護学	在宅看護論 在宅看護技術演習	在宅看護実践
	地域看護学	地域看護論 地域看護活動論 学校・産業保健	公衆衛生看護活動論 ☆ 公衆衛生看護管理展開論 ☆ 公衆衛生看護実践Ⅰ(行政看護) ☆
	グローバル ヘルス		公衆衛生看護実践Ⅱ(産業看護) ☆ 健康教育技法 ☆ ヘルスプロモーション実践
	統合領域 医療とは何か、看護とは何かを、あらためて問い直すための科目が配置されています。	移行看護論 医療システムアプローチ実践	プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ(開発援助論) プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ(海外研修) 臨床看護実践(海外研修)
	ナーシングマネジメント論 ナーシングマネジメント実践	研究デザイン法 プロジェクトⅠ(基礎) プロジェクトⅡ(応用)	

(2016年4月1日現在)

学問の魅力、みなさんへの期待



チームという「協力の科学」は、医療の質を高めることができる

私は、看護管理・政策を専門にしています。特に、研究テーマの一つである「チーム医療」については、Inter-professional Education(多職種連携教育)と、Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)を組み合わせた独自のプログラムを開発し、医学部・看護医療学部・薬学部の海外研修科目として開講しています。これは、三学部の学生チームが、ラオスの農村で健康課題の解決などに取り組むプログラムです。学生がお互いの強みを活かし、協働・補完し合って活動する、そこからは、真のチームの姿が見えてきます。優れたチームは、効果的な課題解決に大きく貢献します。医療は「協力の科学」によって、その質をさらに高めることができるのです。

看護や医療は、社会の変化や技術の発展を背景に、今後その姿を変えていくことでしょう。看護技術も年々改善され進歩しています。しかし、その基盤となる「看護の哲学」は、時を経ても揺るぎません。人を尊重し、生命の尊厳を守ること、深い共感とともに苦しみや悲しみに寄り添うこと、これらは決してその価値を失うことはありません。みなさんには、自分の芯となる哲学をもち、時代と社会の要請に応える看護を開発するための論理的思考と科学的手法を身につけてほしいと思います。そして、世界の健康課題にも関心を寄せつつ、課題の背景にある構造にも注目し、身近なところから取り組むことができる、行動する専門職に育ってほしいと願っています(think globally, act locally)。

小池 智子 准教授

自分の4年間をまとめ上げる「プロジェクト」

プロジェクトは、4年間の学びを統合させるための選択科目で、プロジェクトⅠ(基礎)とⅡ(応用)が設置されています。学びの集大成として、テーマの設定から、研究計画書の作成、実際の研究とそのまとめまでを行います。自分の興味や関心に応じてテーマを決め、積極的に取り組めるように、多くの選択科目を開講していることも特色です。

〈プロジェクト Pick Up〉

スポーツ医学などの未知を、明らかにする楽しみ

私は大まかに、わかっていることを身につけるのが高校、わかっていることと、わからないことの間を知るのが大学、わからないことを明らかにするのが大学院だと思っています。SFC(湘南藤沢キャンパス)では、学部時代にも積極的にわからないことに挑戦する文化があり、それがプロジェクトという名前と呼ばれています。研究テーマは、学生が興味のある対象について、私の専門分野であるスポーツ医学、運動器疾患、バイオメカニクス(動作解析)などと関連づけて決めています。

基本方針は、「研究する」ということがどうということなのか、体験してもらおうことです。看護医療学部は必修科目が多く、最後に国家試験もあるので、学生の自由度がやや狭まっています。その分プロジェクトでは、自由にテーマを選択して科学的な手法や思考を身につけ、「わかっていないことを明らかにする」楽しみを味わってもらいたいと思っています。

学生の研究テーマの一例

「アキレス腱断裂に対する治療法の選択 —治療法による看護のあり方について—」、「障害者アスリートのサポート —ロンドンパラリンピックを経験して—」、「メガネ型3軸角速度計を用いたドラゴンボート競技漕ぎ手の動作解析 —熟練者と初心者の相違点の抽出—」

大谷 俊郎 教授



入学して思うこと、力を入れて取り組んでいること



命の誕生に立ち会い、 親子を支えていけるように

慶應義塾の看護医療学部には、他学部と交流できる総合大学という魅力があります。医学部・薬学部との合同教育はその一つです。海外で学べる機会も多く、私はラオス研修に参加することができました。サークルで行った活動も貴重な経験です。医療系学部の学生による国際協力隊「euphoria」では、インドネシアでストリートチルドレンたちを対象に、メンバーで考えた健康教育活動を実践。「アフリカ医療研究会」ではコンゴ民主共和国へ行き、総合政策学部と環境情報学部の教育・建築分野の研究会により設立された小学校で保健活動に携わりました。SFC(湘南藤沢キャンパス)における教育・建築・医療の三分野が協力する中で、自分とは違う視点からの考えに触れられて、いい刺激になりました。

現在は助産師選択コースで、助産師の資格取得を目指しています。先生は、「知る」だけでなく、「知識を使える」ようにとご指導くださいます。知識の習得にとどまらず、それをを用いて判断・実践するための学びは、慶應義塾の「実学」の精神に通じるものです。長期間にわたる実習では、看護を提供する難しさや喜びも実感できました。何より、知識としての“対象者の強みを活かした看護”を自分なりに模索したことは、大きな成長につながったのではないかと思います。将来は、関係を築き始める親子を支えられる助産師になることが目標です。命の誕生に立ち会い、子どもの幸せに貢献していきたいと考えています。

4年 浅野 照葉
(神奈川県・県立厚木高等学校 出身)

患者さんからの「ありがとう」に、 身の引きしめる思い

私が看護医療の道を志した理由は2つあります。1つは、母の職業でもあった看護師に幼い頃から憧れていたこと。もう1つは、私が交通事故にあって入院したときの経験です。看護師さんが不安や悩みを和らげてくださり、「自分も“誰かにとって大切な人”を助けられるような人間になりたい」という思いを強く抱きました。学びの中で特に心に残っているのは、病院での実習です。実際に患者さんを受け持ち、看護師の方々のサポートのもと、自分に何ができるかを考え、教わった知識を身をもって体感します。実習の最後には泣きそうになるくらい寂しくなりましたが、「ありがとう」「いい看護師さんになってね」など、患者さんから感謝やねぎらいの言葉をいただき、身の引きしめる思いでした。

慶應義塾らしさを感じるのは、学生自身で考える場が多いところです。一人ひとりがその看護の根拠を考え、根拠に基づいた看護を提供しようという学びは、「独立自尊」の理念に沿ったものだと思います。また、応援指導部の吹奏楽団の活動でも、慶應義塾の魅力を味わっています。慶早戦をはじめ各種体育会の応援やその運営、吹奏楽、マーチングドリルなど、忙しいながらも熱く充実した日々です。日吉の部活動だからこそ出会えた多くの人たちとの交流を通して、自分の世界を広げることもできました。せっかくの総合大学ですから、みなさんも部活動やサークルを選ぶときは、ぜひ日吉にも足を運んでみてください。

4年 杉山 果子
(栃木県・県立宇都宮女子高等学校 出身)



一日一日の中に、たくさんの出会いと、学びと、よろこびを

私の生活、私の時間



サークルもアルバイトも、 看護師に通じるコミュニケーションの学び

私は、医療に従事することができ、人と接する機会が多いことから看護師を目指し、看護医療学部を志望しました。看護師は女性の職業と思われることが多いのですが、男性が活躍する場もたくさんあります。慶應義塾大学を選んだのは、SFC(湘南藤沢キャンパス)で幅広い教養を身につけて将来の可能性を広げ、国際交流が盛んな環境で多彩な方々と接することができると思ったからです。

一人暮らしを始めて思うのは、友人に会う機会をたくさん持てるなど、自由に活動できる時間が増えたということです。最近は一人暮らしにも慣れて、自分のタイミングで家事をするなど、時間の使い方を工夫できるようにしました。食事面では、外食をすることも多いので、野菜を多めにとるなど栄養が偏らないように心がけています。

「Liners」というソフトボールサークルでの活動も、文武両道で頑張っています。中学の時はラグビー、高校の時はバスケットボールをやっていたので、大学でも体を動かすサークルに入ろうと思っていました。ソフトボールは9人のチームメイトとしっかりコミュニケーションを取らなければならないので、看護師に求められるコミュニケーションの学びにもなっています。また、アルバイトとして家庭教師をしています。家庭教師は時間的に学業と両立しやすい仕事ですが、やはり人と密に接するという点で看護師にも通じ、私に合っていたのだと思います。

2年 大和田 健太
(大阪府・私立高槻高等学校 出身)

SFCの学びを結ぶ「鴨池急行 SoKanKan」



湘南藤沢キャンパス(SFC)における、学部の枠を越えた幅広い学びを支える無料シャトルバス。本館ゾーンと看護医療学部ゾーンを結びます。

決意を新たにする「Pinning Ceremony」



看護の象徴として、ピンバッジを与えるセレモニー。学生は看護医療の分野で先導者となるべく、それぞれのステートメントを式典の場で発表します。

自分の毎日を、しっかり管理(生活データ例)

1カ月の収支①(実家暮らし)

収入	家族から	55,000円
	合計	55,000円
支出	食費(昼食代ほか)	5,000円
	交際費(サークル費用含む)	8,000円
	電話代	5,000円
	交通費	12,000円
	書籍代(教科書・参考書)	5,000円
	その他*	20,000円
	合計	55,000円

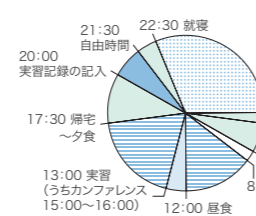
※被服費
(東京都出身・3年生・女性)

1カ月の収支②(一人暮らし)

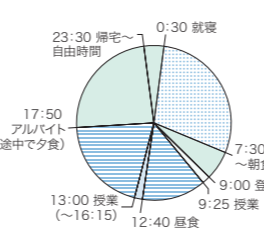
収入	家族から	100,000円
	奨学金	30,000円
	アルバイト	15,000円
	合計	145,000円
支出	家賃	71,000円
	食費	30,000円
	光熱水費	8,000円
	交際費	12,000円
	交通費	6,000円
	書籍代	2,000円
	貯金	6,000円
	その他*	10,000円
	合計	145,000円

※日用品、被服費
(長野県出身・3年生・女性)

ある1日のスケジュール① (信濃町キャンパス・3年生・男性)



ある1日のスケジュール② (湘南藤沢キャンパス・1年生・女性)



時間割①(秋学期・湘南藤沢キャンパス・1年生・女性)

	月	火	水	木	金
1	健康論		地域開発論*		
2	社会福祉 概論 (学期前半)		プライマリー ヘルスケアと国際 保健1(開発援助論)	体育2	身体の構造と機能
3	ヘルス リサーチの 基礎 (学期前半)	フランス語 ベーシック1A*	生活援助技術	英語IIA	フランス語 ベーシック1A*
4		地域看護論		英語IIB	
5	世界の 医療・保健制度1 (比較制度論)				データサイエンス

※総合政策学部・環境情報学部設置科目

時間割②(秋学期・信濃町キャンパス・3年生・男性)

	月	火	水	木	金
1			看護のための 生化学・ 生理学 (学期前半)	看護のための 薬理学 (学期後半)	
2					
3	実習日	実習日	先端医療技術	実習日	実習日
4					
5					

専門の連携へ「三学部合同教育プログラム」

慶應義塾は、医療系に医学部・看護医療学部・薬学部を擁する大学として、三学部が互いに連携し、保健・医療を追求できる人材を育成しています。三学部合同教育プログラムは、患者中心のグループアプローチによる医療実践に貢献していくことを目的に、医療系三学部の学生が共に学ぶカリキュラムです。1年次に初期教育、2年次に中期教育、4年次に後期教育を実施するほか、ラオスにおいて三学部合同の海外研修プログラムも実施しています。



中期教育の様子



後期教育の様子



ラオス海外研修の様子

あなたは、どんな“未来の自分”を思い描いていますか

～活躍する卒業生たち～



「個」から課題を見つけ、「全体最適」にアプローチ

私は、慶應義塾看護短期大学を卒業後に勤務したりハビリテーション病院で、予防医学の重要性を痛感し、保健師になるかと決意しました。そのために学び直すのであれば、「看護」と「医療」の分野にとどまらない知識を得て、視野を広げ、社会性を高めたいと考えました。慶應義塾大学の看護医療学部は、総合大学で、他学部生とともに学べる上に、他学部の科目も履修できます。私の思いを満ちす条件が揃っていました。

入学後は、総合政策学部や環境情報学部の授業も積極的に受講することで、ビジネスや施策を考える「頭」が鍛えられたと思います。他学部の学生と議論する場も多く、さまざまな刺激を受けました。その経験は、一般企業で働く上でとても役に立っています。

社員の健康を、同じ社員として支援

現在は、キヤノン株式会社人事本部で、事業所の健康支援室を統括しています。企業の健康支援は、間接部門の一つ。私の立場は、看護職である前に人事本部の一社員です。会社の方針を理解し、会社施策の一部として、社員の生産性向上や組織の活性化を図ることが求められます。

この仕事には、「個」と「全体最適」、どちらの視点も重要です。個別の問題でも、個別にサポートするだけでは解決しません。労務管理や職場

管理と直結しているので、労務に携わる人事をはじめ、各職場との連携が不可欠なのです。時には役職者に、健康という切り口からデータとともに課題を提示し、改善を申し入れます。個別支援から課題を見つけ、集団や職場全体にアプローチできることにやりがいを感じています。

いざというときにも、医療職として会社の力に

今後は、管理職を目指してビジネスマンとしてのさらなる知識やスキル、経験を積み重ね、後進を育てたいと考えています。また、災害などいざというときには、社内の数少ない医療職として力になれるように、昨年、予備自衛官補になりました。災害支援ナースやJPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care: 病院前救護に携わる医療従事者に対する病院前外傷教育プログラム) の資格取得も検討しています。

近年、「健康経営」という言葉も盛んに聞かれるようになりました。企業で活躍する産業看護職への期待は、今後ますます高まっていくと思います。一緒に働く仲間がもっと増えるとうれしいですね。

2007年卒業 柳川 祥子
キヤノン株式会社 取手事業所 勤務

すべての人が、「家に帰る選択肢」を持てるように

救命された人々がなかなか家に帰れないのはなぜか。本当に積極的な救命治療が必要な人はどのくらいいるのか。私は、初めてのキャリアとなった北里大学病院救命救急センターの集中治療室で、いくつかの問題意識を持ちました。その重要な解の一つが、在宅医療の拡充、特に訪問看護だと気づいたことが、現在の仕事に結びついています。

病院勤務3年目にケアプロ株式会社に転職し、訪問看護事業の立ち上げに携わりました。業界史上最年少の訪問看護ステーションの所長となり、4年間にわたり事業責任者としてのさまざまな業務に取り組みました。一番のこだわりは、24時間365日の訪問看護サービスを続けたことです。そのようなステーションをもっと増やしていくために、今年の6月、独立して、ウィル訪問看護ステーション江戸川を立ち上げました。

価値観やライフスタイルも、「健康」の一部

看護師という職業は、「健康」に関する問題をロジカルに分析し、診断・介入・評価する仕事です。「健康」は、単に病気でないということではなく、身体・精神・社会などの面で充足しているかどうかで判断されます。家族、価値観、ライフスタイル、やりたいことなど、その人のすべてと付き合いながら、「健康」問題を解決していくことが私たちの役割です。

一人として同じ人はいないため、常に一人ひとりに応じたクリエイティビティを求められます。その中で、看護の原理原則を駆使して、その人がよりよい人生を全うできるように全力を尽くしていくことは、言葉では言い表せない達成感と職業への誇りをもたらしてくれます。

スウェーデンは50%、日本は13%

日本では現在、8割の人が病院のベッドの上で人生の最期を迎えています。最期まで自分の家で暮らしたいと希望する人も多いのですが、実際に暮らせる人は13%程度。スウェーデンの約50%、フランスやオランダの約30%に比べると非常に少ないというのが現状です。

家で暮らすために最も重要なのは、地域看護師や在宅看護師の存在だと言われています。しかし、24時間365日の訪問看護サービスはまだわずか、訪問看護師の高齢化も進んでいます。私は看護師として、「すべての人が「家に帰る選択肢」を持てるように」という思いを胸に、新しい訪問看護ステーションの仕事に取り組んでいきたいと考えています。

2010年卒業 岩本 大希
WyL株式会社 ウィル訪問看護ステーション江戸川 勤務

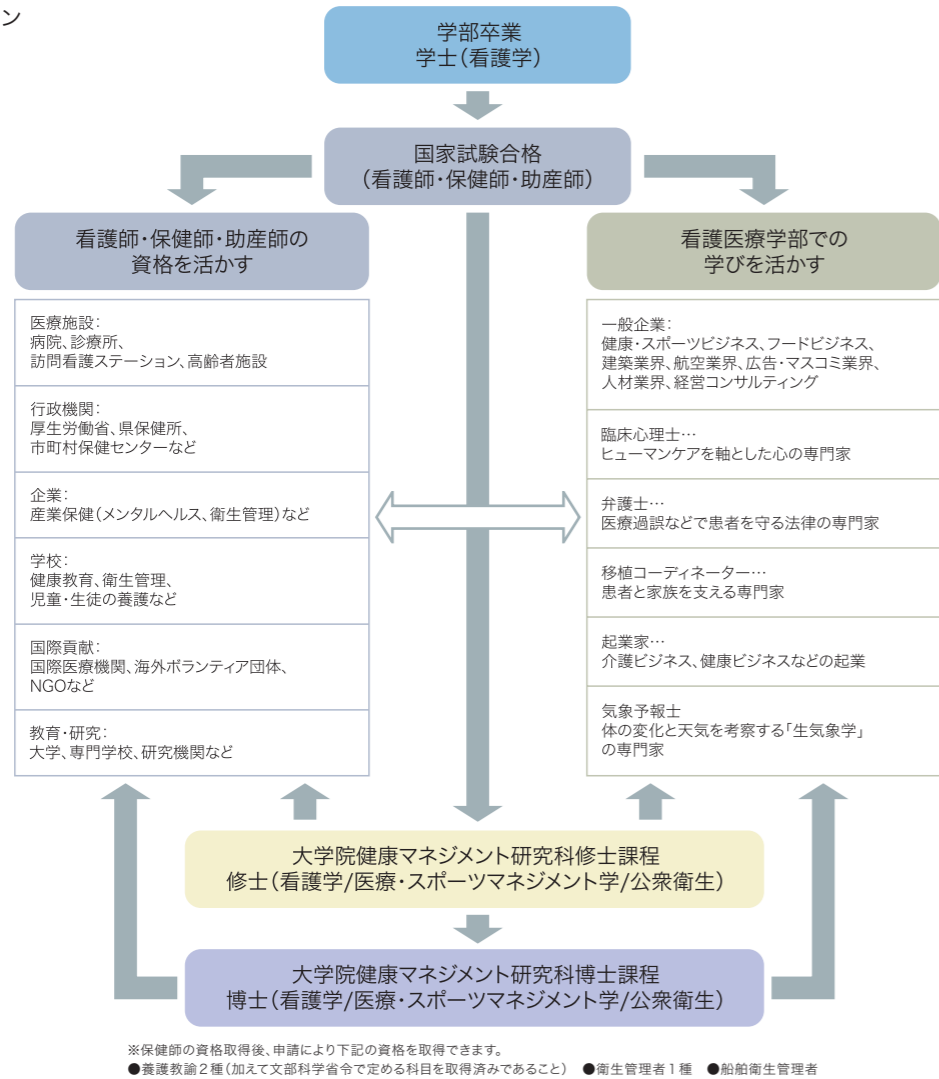
慶應義塾 看護100年のあゆみ

慶應義塾は、2018(平成30)年、看護教育が始まってから100年という大きな節目を迎えます。
その長きにわたる歴史を振り返り、年表や写真とともにご紹介します。

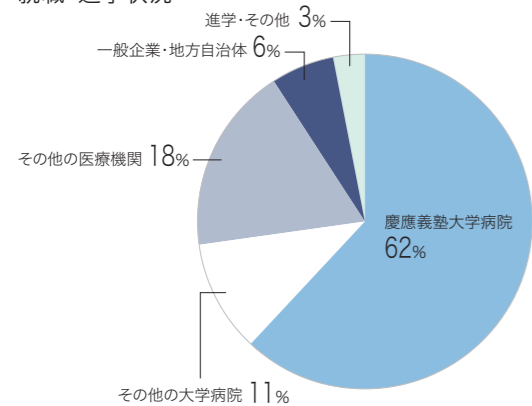
卒業後の進路

看護医療学部の学生は、国家試験に合格したのち、9割以上が就職を選択します。
慶應義塾大学病院をはじめとする病院や、企業や市町村の保健管理部門などに就職する人。
看護の専門性を活かし、一般企業で自らの可能性を広げる人。新たな社会貢献を目指し、起業の道を歩む人。
また、看護学のさらなる学びを志す人は、大学院などへ進学します。
多種多様な進路は、総合大学ならではの広い視野とチャレンジ精神の表れと言えるでしょう。

将来のキャリアプラン



就職・進学状況



主な就職先

66	慶應義塾大学病院
11	東京大学医学部附属病院
5	虎の門病院
2	井之頭病院 成仁病院
1	日本生命保険 東日本電信電話 富山県 グーグル 埼玉県 大船中央病院 北里研究所病院
1	ケアプロ 国立精神・神経医療研究センター病院 国家公務員等共済組合連合会・総合病院横浜共済病院 埼玉草加病院 上毛新聞社 昭和大学病院 東京通信病院 東京都立小児総合医療センター 日本赤十字社医療センター 日本赤十字社名古屋第二赤十字病院 広島市民病院

(2016年3月31日現在の本人からの進路届による)

慶應看護の始まり

慶應義塾における看護教育は、1918(大正7)年に、「慶應義塾大学医学科付属看護婦養成所」が開設されたことに始まります。
54名の第一回生を迎え、看護教育がスタートしました。



慶應義塾大学病院全景(昭和初期)



整形外科処置実習風景(昭和初期)



ひなまつり(昭和17年)

- 1858 (安政5) 江戸築地鉄砲洲に福澤諭吉が蘭学塾を開く。慶應義塾の原点。
- 1917 (大正6) 慶應義塾大学医学科を開設。
- 1918 (大正7) 医学科付属看護婦養成所を開設し、第一回生の養成を開始。
- 1920 (大正9) 医学部を開設し、慶應義塾大学病院を開設。
- 1922 (大正11) 医学部付属産婆養成所を開設。
- 1938 (昭和13) 医学部付属看護婦養成所と改称。
- 1944 (昭和19) 医学部付属看護婦産婆養成所と改称。
- 1945 (昭和20) 空襲により医学部・病院施設の6割が焼失。
- 1950 (昭和25) 保健婦助産婦看護婦法により、医学部付属厚生女子学院と改称。
- 1954 (昭和29) 医学部付属看護婦学院を設置。
- 1960 (昭和35) 看護婦進学コースとして別科課程を設置。
- 1971 (昭和46) 大学病院付属高等看護学院(准看護婦の夜間進学コース)を設置。
- 1977 (昭和52) 学校教育法、施行規則などの一部改正により、厚生女子学院は専修学校となる(看護専門課程本科、進学科一部、進学科二部)。
- 1978 (昭和53) 厚生女子学院創立60周年記念式典を開催。
- 1988 (昭和63) 看護短期大学を開設。
- 2001 (平成13) 湘南藤沢キャンパス(SFC)に看護医療学部を開設。
- 2005 (平成17) 大学院健康マネジメント研究科(修士課程)を開設。
- 2007 (平成19) 大学院健康マネジメント研究科(博士課程)を開設。
- 2011 (平成23) 医療系三学部(医学部・看護医療学部・薬学部)による合同教育を開始。
- 2018 (平成30) 慶應看護100年。

「独立自尊」と「実学」を重んじる看護教育を継承

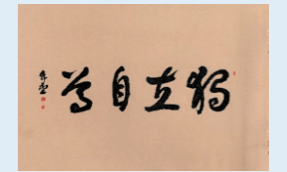
戦争の大きなダメージから立ち直った「看護婦産婆養成所」は、1950(昭和25)年、「厚生女子学院」として新たなスタートを切りました。
看護婦免許は、地方免許から国家免許となりました。



内科診療実習(昭和10年頃)



慶應義塾大学病院外来玄関(昭和10年頃)



福澤諭吉遺墨「独立自尊」



慶應義塾大学病院周辺(昭和30年頃)

21世紀の看護・医療の先導を目指して

21世紀のスタートとともに、看護医療学部が開設されました。大きく変動する時代の中で、看護・医療の先導的な役割を果たす人材の育成を目指し、幅広い看護教育を展開しています。



看護医療学部実習風景



看護医療学部校舎



入試制度や奨学金にも、オリジナリティ

多彩な考えや価値観に触れる 学部の枠を越えた活動

学生は、勉学の合間をぬってさまざまな活動に積極的に取り組んでいます。看護医療学部を拠点とするサークルで、国内外における保健医療活動や研究発表などを行っている学生。湘南藤沢キャンパス(SFC)の総合政策学部生・環境情報学部生との音楽・スポーツ・ビジネスをはじめとした活動や、医学部生・薬学部生とのボランティア活動に力を入れる学生。さらに、学部の枠を越えて体育会に所属し、早慶戦などで活躍する学生もいます。他学部の学生と交流を深め、多彩な考えや価値観に触れられることも、総合大学である慶應義塾ならではの魅力です。

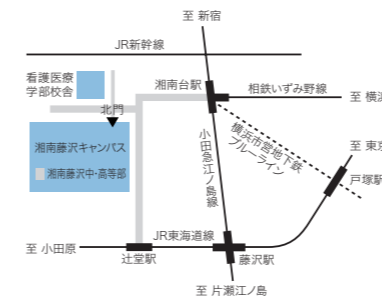
意欲や適性を 多面的に評価するAO入試

看護医療学部は、将来、看護・医療の先導者として人々と社会に貢献できる意欲ある人材を求めています。そこで、一般入試の他に、AO(アドミッションズ・オフィス)入試でも新生を募集しています。これは、一般の学力試験とは異なる視点や尺度で、入学希望者の意欲・能力・適性などを多面的に判断しようとするものです。筆記試験ではなく、書類審査と面接で合格者を決定します。また、受験生が自由意志で応募できる点もAO入試の大きな特色です。高等学校長の承認・推薦などは必要ありません。詳細は看護医療学部ホームページをご参照ください。

海外での学習や活動を支援する 独自の奨学金

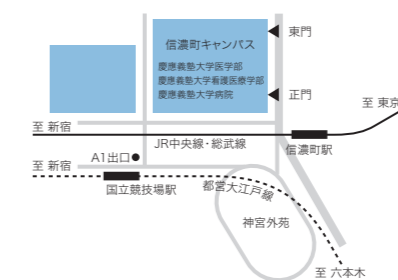
看護医療学部の前々身、慶應義塾大学医学科付属看護婦養成所卒業生の寄付による「青田与志子記念慶應義塾大学看護医療学部教育研究奨励基金」から、海外研修プログラム3科目と、学生が海外で自主的に行う学習・研究活動に対して奨学金を支給しています。これまでに300人以上がこの奨学金を受給し、アジア諸国でのプライマリーヘルスケアやロンドン・パラリンピックでの調査など、各自の興味に沿った多様なテーマで研究が行われています。(2015年渡航先:パレスチナ、カンボジア、デンマーク、ミャンマー、インドネシア、タイ王国、イギリス、香港)

Campus & Access



湘南藤沢キャンパス(SFC)
〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
湘南藤沢事務室看護医療学部担当
TEL 0466-49-6200(直)

- 小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/
横浜市営地下鉄ブルーライン「湘南台」駅下車
(バス「慶応大学」行 約15分)横浜～湘南台=約30～40分
- JR東海道線「辻堂」駅下車
(バス「慶応大学」行 約25分)横浜～辻堂=約30分
- 羽田空港からのアクセス:
羽田空港～上大岡～湘南台=約70～75分



信濃町キャンパス
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
信濃町キャンパス学生課
TEL 03-5363-3662(直)

- JR中央線・総武線「信濃町」駅下車(徒歩1分)
新宿～信濃町=約6分
東京～秋葉原～信濃町=約20分
- 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅下車(徒歩5分)
新宿～国立競技場=約6分
- 羽田空港からのアクセス:
羽田空港～浜松町～秋葉原～信濃町=約60～65分



信濃町キャンパス 孝養舎